

## ジェフとの交流から感じたこと、学んだこと

2007年4月に、シアトルからジェフが札幌へ遊びに来ました。その時に、菅原ゼミの2年生が、彼を札幌案内しました。そこから感じたこと、考えたことをまとめています。

「ジェフと過ごした二日間」

高橋 強二

4月18日、僕と雄次はジェフが来ることに対する緊張と楽しみな気持ちが入り混じっていました。外人と話す機会が今まであまりなかったので、うまくコミュニケーションが取れるだろうかという心配と、異文化の人と接する経験を得られるという考えが僕たちにはあり、前日の夜から二人でどう接すればいいのか話合っていました。

しかし、ジェフは僕たちの不安を会った瞬間から取り除いてくれました。逆に言えば、ジェフを見て僕たちは安心したのです。すごく人が良さそうでたくさん話したいと感じました。自分から話を切り出したい、けどできないと思った時、ジェフが質問をしてきました。それをきっかけに会話が盛り上がり、一日目の夜はジェフと3人でビール片手に語りました。

その日僕は感じたことがあります。もし自分が外国に行き、会ったこともない人と、しかも話す言語が違う人と楽しくコミュニケーションをとり、安心して家に泊まることのできるだろうかと感じました。二日目は女の子3人と僕とジェフの5人で札幌を歩きました。

札幌ドーム、テレビ塔、札幌ファクトリーに行きました。札幌の街を歩いているときジェフの性格に気づいたことがありました。僕とジェフは男だから女の子よりは歩くのが速いのはもちろんです。途中で僕とジェフが女の子たちより少し前を歩いていたとき、ジェフは後ろを振り向き僕に英語でよくわからなかったけど、「ちょっと待とう」と言ったのは感じました。

僕はそのとき離れているとは気づかずに歩いていたが、ジェフはみんなのことを思い、僕に言ったのだと思います。僕は何を言いたいのかというと、ジェフは優しい性格であると同時に、一日目の経験から考えてきっと人間が好きなのだろうと感じたのです。違った国で、しかも話す言葉が異なり不安になるはずなのに、ジェフは常に楽しそうな顔をしていた。僕たちがジェフを歓迎するはずが逆にジェフに歓迎してもらった気持ちでいっぱいでした。

ジェフも僕も同じ「人間」なのです。たとえ国が違っても人はコミュニケーションをとりお互いの文化について理解し合えることができるということをジェフは教えてくれました。これから外国の人と接することがまたあると思います。そのときは最初から不安な気持ちなど持たず、オープンな自分で接します。

「何ごととも経験！」

2年 石村 麻由美

初めて自分が話した外国の人、シアトルのジェフとの食事はとても楽しかったです。ジェフは食べている時、みんなに話しかけていたので、気配りの細やかな人だと思いました。また、つたない私の英語にも気さくに反応してくれたので、思った以上に会話のできたので嬉しかったです。私は英語での会話をしたことがほとんどないので、とても良い刺激となりました。そしてこの経験の中で英語に関して二つ、学んだ事がありました。

英語に関しての一つ目に、会話の中で、簡単な単語さえも思いつかないことです。その時、私は「柔らかい」と言おうとしました。今でこそ“柔らかい”は“soft”という事は分かります。しかし、日本語化もされているような簡単な単語でも、それが会話中すぐには思いつかなかったのです。結局、単語が出てこなかった事でなんて言ったら良いか分からず話が有耶無耶な状態のまま会話を終了させてしまいました…。たとえ自分が英文を読んで理解する事が出来ても、英会話となると、ボキャブラリーが極端に少なくなってしまうようです。

二つ目に、英語の発音の難しさです。“forest”という有名な英語教材があります。私はよく、“フォレスト”という読み方で呼んでいたのですが、会話の中で“forest”と言う時に、“フォレスト”とそのままの読み方で発音しました。ジェフには私の言っている“フォレスト”が何のことを言っているのか伝わらず、発音を繰り返すうちに“フォーレスト！”と、正しい発音でジェフが言い、“森”という意味がやっと伝わったのです。この出来事は私にとってかなりショックな出来事でした。日本語化されている英語の場合は日本語の発音で覚えてしまっている場合が多いので、喋る時に気を付けなければならないと思いました。

この体験は私にとってとても貴重なものになりました。話す事の難しさ、しかし伝えようと思えば伝わる楽しさ、ネイティブの人と話すからこそ分かった発音の難しさ…。ジェフと、この体験のきっかけを作って下さいました先生にとっても感謝です！ありがとうございました！

「ジェフからもらったもの」

高橋雄次

今回僕は一番長くジェフと過ごすことができました。これは僕の人生の中でとても貴重な体験のひとつになりました。夜も遅くまでジェフと話すことができるととても勉強になり、また、同時に自分の英語に対する反省点も多く見つけることができました。最初は自分の英語は通じるのか、ジェフと何を話そうか、ジェフの英語は聞き取れるかといった不安でいっぱいでした。しかし、実際に会って話してみるとまるで日本語で話しているかのよう

に自然と英語が聞き取ることができ、とても驚きでした。受験勉強のおかげです。

ジェフとはお酒を飲んで話し合ったり、アメリカのアニメを見たりしました。ジェフと話していて感じたことは、ジェフは簡単な英語で僕に話してくれているということです。テレビや映画で聞く英語は早いしうまく聞き取ることができないことが多いけど、ジェフは違うと感じました。最初、ジェフとは緊張してうまく話せなかったけど、お酒が入るにつれて僕もジェフにたくさん質問するようになりました。逆にジェフは日本の文化の奇妙なことについて話してくれました。例えば、日本でお店に入ると1人の店員がお客さんに『いらっしゃいませ!』という次に他の店員が『いらっしゃいませ!』と言うことです。ジェフはこの行為はとても奇妙だと言っていたのです。これには驚きました。普通アメリカ店では誰も何も言わないが、『Welcome』や『May I help you??』などといった一言だけらしいです。そのほかにもジェフといると日本と違うことにたくさん気づきます。家でアメリカのアニメを見ていて気づいたことは、アメリカ人と日本人では笑うところが違うということです。これも自分にとって驚きです。でも、もっとも驚いたことは自分でも英語を使って外国の人とコミュニケーションを取れるということでした。違う国の文化や伝統を知ることは楽しいことであり、とても重要なことだと思います。また、他の国の人と触れ合うことも同じで、いろんな事を学べると感じました。

今回の反省点は聞くことはできても話すことができず、片言の英語になり自分の伝えたいことをそのまま伝えることができなく、どうしても会話の最中で止まってしまうことです。大切なことは自信がなくてもとりあえず話してみることで、そこからコミュニケーションが生まれる、そう感じました。しかし、今回は自分の話したいことをうまく伝えられることができずにとっても悔しい思いをしました。だから、もしまた外国の人と接する機会があればその時はもっと上手な英語で話したいと感じました。その時のために今からもっと英語を勉強したいです。

今回ジェフからもらったものはジェリービーンズそして自信でした。

「背中を押してくれた一言」

2年 平沼 麻美

ジェフと札幌を回って、色々説明しながら歩き、今までは素道りしていた建物や、行ったことがない所に行きいつもと違う札幌を歩くことが出来ました。そのことによってもっと札幌の街が好きになりました。

ジェフと接してみて、初めに反省しなければいけない点があり、それは、ジェフが日本語を話せるということに頼りすぎてしまったところがあったなと、もう少し会話が弾むように準備をしておくべきだったと思いました。そこが一番の反省点でした。逆に、話をする中で、日本語英語がでてきて、向こうでは通じないと言われた言葉があり、勉強になり、面白かったです。特に覚えてたくさん使っていた言葉は、「シャッターチャンス」という言

葉で、アメリカでは、「Photo opportunity」というと教えてもらいました。そして、私たちは、「ちょっと、ちょっと、ちょっと」というギャグを教えてあげました。そうしたら、すぐ覚えて何回も「ちょっと、ちょっと、ちょっと」と言って楽しませてくれました。お互いに知らなかったり、わからない単語を教えてもらったり、教えてあげたり、こんな風に英語を学ぶとすごく楽しいし、もっと英語を好きになると感じました。

その他にも、アメリカの女性は気が強い人が多いとか、彼女達の服装についてだとか自分の興味深い話をしてもらったり、日本中を観光した感想を聞いたり、自分のためになる貴重な話が出来て本当によかったです。

また、一番思い出に残っていることは、みんなでプリクラを撮ったことです。機会の中ではみんなはしゃいでいて、みんなその日で一番笑っていたと思います。出てきたプリクラはみんないい笑顔で本当に楽しくて、プリクラをとってさらに仲良くもなり、とてもよかったです。

最後に、私もいつかアメリカに行きたくて、自分の夢だという話をしたら、「それはいいことだね、ぜひ行くべきだよ。」と言ってくれました。そう言ってもらえて実現しようという気持ちがまた強くなりなした。今回の異文化交流で体験したことを次の異文化交流に生かせるようにこれから日々勉強だと思いました。

### 「My English is still poor」

岩井 宏樹

先日、Jeff と話して自分の英語がまだまだということがわかった。今の状態はただ英語が上手く話せるだけと言う感じなのでもっと全ての点で向上させていく必要がある。

まず、言っていることは理解できていたが、まだ自分の言いたい事が向こうに 100%伝わっていない感じがした。ボキャブラリーが足りないことはもちろん、頭に浮かんだ文章が上手く表現できていない。他に、Jeff が自分の英語の発音はまだ日本人の英語に近いと言っていたし、その点も直せるだけ直していかなければならない。

また、まだまだ自分は Shy だなと思った。先生の言うようにもっともっと自ら積極的に話すなり、アクションを起こさないとダメと思う。

Jeff にスラングなど新しい言葉を習ったのでその点は非常によく今後使っていきたい。スラングは今後（特に自分と同じ世代との）日常会話の中でよく使うことになるのでその点でもよかった。E-mail についても聞きたいことが聞けたし、興味深いこともわかった。

Jeff も “Your English will defiantly improve” とメールで言っていたのでもっと努力して Poor から Great にするために日本にとどまっているのではなく、もっと日本を出ているような経験をしていく必要があると思う。

## 「Jeff との交流」

2年 吉島 奈那

私は、お昼から夕方まで Jeff に札幌の案内をし、彼と交流しました。外国の方をもてなすということで、英会話の予習をしていたものの、いざ彼を目の前にすると小学生レベルの単語しか浮かんでこず、さっそく自分の英語力のなさを痛感させられました。Jeff は、私達の緊張をほぐそうと趣味や好きな食べ物など色々と質問してくれ、話のきっかけを作ってくれました。しかし、彼がゲストなのにこれではいけない！と思い、もっと積極的に話そう、この機会を存分に生かそうと思いました。

最初に学園駅の沿線ということもあって、札幌ドームに行きました。ドームの内部や展望台からの景色を見せてあげたかったのですが、残念なことに展望台が開放されていない日で見学することはできませんでした。丁度、お昼時でしたので札幌の景色を見下ろしながら食事をする事ができる札幌 TV 塔に向かい、そこで食事をしました。食事の時には、皆で将来のことや、Jeff の一人旅のお土産話などで盛り上がりました。

日本人の私達よりも日本のことを知っていて、感心したと同時に自分をとても恥ずかしく思いました。海外に憧れる前に自国のことをもっと学ばなければならないと改めて強く感じました。

その後は、札幌ファクトリーやビール園に行きました。札幌ビール園は Jeff が1番行きたがっていた博物館で、私も始めて見学したのですが、札幌でビールが開発されるまでの過程や裏話などが聞け、とても楽しかったです。見学し終わって、試飲のビールを飲んでいる時に、Jeff はアメリカの大学生の話などを聞かせてくれました。彼は、留学を強く勧めていました。留学でなくても海外に是非行って見て欲しいと。私も、以前から海外には是非行きたいと思っています。そして、今回の Jeff との交流で更にその気持ちが強くなったように思います。

あんなに外国の方と長く過ごしたのは初めての体験で、最初は戸惑いましたが、少ない英語力でも意思疎通が出来ることや、一緒に楽しめたことに感動しました。また、Jeff の勉強家な面や行動力に刺激を受けました。今回は、いつもの自分よりも積極的に話しかけたりと、この機会を今の自分なりに精一杯活かせたと思います。このような機会があるならば、是非また参加したいです。

## 「ジェフとの札幌観光」

2年 荻田 春佳

ジェフと昼間札幌観光して、とても良い経験になりました。アメリカ人という異国の人で、最初はとても緊張していましたが、ジェフは優しくて良い人でした。

ジェフと半日一緒に過ごして学んだことは、当たり前なのですがどこの国の人でも同じ人間で、通じ合えるということです、私は今まであまり日本人以外の人と接したことがな

く、違う国の人に少し怖いイメージを持っていましたが、ジェフはとても良い人だったし、どんどん話しかけることで色々なことを彼から学べ、積極的に話しかけることが大事で、どんどん英語を使ってみることで英語を使うことに抵抗がなくなります。普段使っていない英語を使うことに少し恥ずかしさが最初はありましたが、たくさん英語を使うことでそういった感覚もなくなると思いました。

良かった点は、ジェフと仲良くなれて、ジェフから今まで知らなかったアメリカのことを聞けたところや、知らなかった英語を教えてもらえたところです。悪かったところは、やはり、最初は緊張してあまり話しかけられなかったところ、またジェフが日本語ペラペラなのでどうしても彼に甘え、日本語を使ってしまったところです。もっと単語や文法を覚え、英語で会話できればと感じました。

ジェフと半日一緒に過ごし、英語が上達するためには英語に慣れることが大事だと感じました。耳で聞き慣れることはもちろん、使い慣れること、違う国の人でも躊躇しないで話しかけることが重要なのです。

#### 「J e f f と交流して学んだこと」

2年 千葉律宗

先日、J e f f と食事会に行かせてもらいまして、いくつか学んだことがあります。

一つ目は、周りから認められるには自発的に発言や会話を進めていかなければいけないということ。普段から異文化について勉強してきて、少しは気にしていたことなのですが、今回J e f f と過ごしたことで実感に変わりました。

4号館の入り口でJ e f f と初めて会った時のことです。私は彼に簡単な自己紹介をしました。その後、いくつか話をしようと思って、質問することを考えていたのですが、僕よりも先に来ていた高橋くんが彼と非常に仲良く会話をし始めたため、彼らの会話の中に入ることを勝手によくないことだと考えてしまいました。そのため、お店に着くまで一言も話すことができず、ただ彼の話すことに耳を傾けているばかりでした。自分の伝えたいことがあっても、雰囲気負けて本当に自分が考えていたことは何も相手に伝わらなかった。後から考えれば、何もためらうことはなかったと反省しています。

二つ目に、J e f f が彼の国の人気の職業について話してくれた時のことです。私たちが彼の目指している職種について聞くと、IT関係の仕事に就きたいと教えてくれました。その答えに、一同はすばらしいですね、と答えました。彼は、その答えに対し意外に感じていた様子でした。その理由は、彼の国では日本ほどIT関係の仕事をする人と聞いて、カッコいいと感じないということでした。その代わりに、消防士にはカッコいいイメージがあると教えてくれました。ここで少し気になったことは、異文化圏に行ったときに嫌いなものや悪く思っていることを、安易に言えないなということです。自分の嫌いなものが、自分の行った国では良いとされることかもしれない。はっきり自分の考えを述べることも

大切ですが、自分の発言によって相手に良くない印象を与えてしまうのは心が痛みます。

今回の経験はとても貴重なものでした。学んだことも多くありましたが、なにより楽しかったです。今回の機会を与えてくれてありがとうございました。